

令和2年11月13日
九州地方整備局
九州技術事務所

『「ICT活用」及び「遠隔操作」講習会』を開催します！

～ICT施工、無人化施工の活用促進を目指して～

九州地方整備局及び九州技術事務所では、災害現場における遠隔操縦式重機のオペレーター不足や技術力の維持などの課題に対応すべく、「無人化施工訓練」を平成27年度より行ってきました。一方で、建設業界における、生産性の向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた取り組みが急務となっています。

そのような中、**今年度は初めて中小規模工事でも活用可能な小型建機を使用**した『「ICT活用」及び「遠隔操作」講習会』を開催します。

記

- ・日時：令和2年11月19日(木)、20日(金) 9:00～16:30
- ・会場：国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所
9:00～10:45 座学（本館3階 会議室）
10:55～16:15 実技（グラウンド）

※小雨決行

■取材方法

- ・写真、映像等取材可能です。
- ・取材日時は原則として以下のとおりです。
11月19日(木) 10:00頃～10:30頃 概要説明 等
10:30頃以降 講習会の状況を自由に取材可能
- ※10時までに本館3階会議室で受付をお済ませください。
- ※コロナ感染防止対策のため発熱(37.5℃)等ある方はご退室頂く場合があります。
- ・操作訓練では重機が動きます。安全確保の観点から、取材にあたっては係員の指示に従って下さい。
- ・取材当日は動きやすい服装及び靴(運動靴等)でお越し下さい。また、グラウンドではヘルメットが必要ですのでご持参願います。
- ・多数の方が来場されますので、取材であることが分かるよう腕章等の着用をお願いします。

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所（久留米市高野1丁目3番1号）
火山防災減災課 専門官 内藤 博（ないとう ひろし）
TEL 0942-32-8245（代表）

ICT施工、無人化施工の活用促進を目指した研修内容の検討

九州地方整備局
九州技術事務所

- 九州技術事務所では、平成27年度から、災害時等の危険な状況下において、安全に災害対応ができるよう無人化施工を実施することができる民間の無人化施工従事者(主にオペレーター)の育成を推進。
- また、平成28年度から、平常時において、i-Constructionの普及により、施工の効率化による生産性向上を目的として、ICT機械の操作体験を民間施工従事者に対して推進。
- 令和2年度は、上記の取組をスクラップアンドビルドし、i-Constructionの課題の1つである現状では活用の少ない中小規模の工事に対応可能な小型建機でのICT施工と無人化施工の講習会を開催し、来年度からの人材育成センター(BIM/CIMセンター)へ向けた研修(講習)内容の検討を実施する予定。

令和2年度 講習会概要

【九州技術事務所会場(久留米市)】

◇開催日:令和2年11月19日、20日

◇参加者数:約40名予定(2日間)・・・各県建設業協会に今回の趣旨を説明し、参加者を募集。

◇内容:監理技術者、現場代理人等を対象とし、ICT施工(小型バックホウ(0.11m³、0.28m³))、無人化施工(遠隔操縦式バックホウ)の操作体験。

(参考)令和元年度 訓練状況

